

「A I 時代の教育学会」協賛のお願い

「A I 時代の教育学会」設立準備世話人代表

赤堀 侃司（日本教育情報化振興会・会長）

中川 一史（放送大学・教授）

坂元 章（お茶の水女子大学・教授）

辻村 哲夫（学習情報研究センター・理事長）

謹啓

春の好季節を迎えました。

貴社におかれては益々ご発展のことと拝察いたします。

さて、既にご承知のとおり、私たちは「A I 時代の教育学会」を設立することとし、本年7月30日の設立総会に向けて鋭意準備を進めております。

今日の著しい情報化の進展、人工知能（A I）の発展は教育の分野にも大きな影響を与え、来年度から始まる新学習指導要領では、小学校からプログラミング教育を開始するなど、学校教育においても従来にない強化が図られようとしています。

私たちが新たに学会を設立することと致しましたのも、こうした社会の状況を踏まえたものです。本学会は、教師、研究者、行政、企業・団体、学生・生徒と様々な立場の皆さんが一堂に会し、領域を超えて教育に関する研究調査・情報交換を行おうとする、これまでにない特色を持った学会です。

貴社におかれましては、是非こうした本学会設立の趣旨にご理解を賜り、本学会の協賛会員としてご入会・ご協賛賜りたく、ここにお願い申し上げる次第です。

近々、直接伺って趣旨等を説明させていただきたいと存じておりますが、まずは書面にてお願い申し上げます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

謹 白

申込用紙

A I 時代の教育学会事務局 御中

当社は、A I 時代の教育学会の協賛会員入会を申し込みます。

口数

貴社名

住所

担当者名

所属

電話番号

メールアドレス

個人情報の取り扱いには十分注意し、当学会の活動以外には使用いたしません。

入会手続き

協賛会員の会費（年額）は、一口 3 万円です。

上記申込み用紙に必要事項を記載の上、下記の A I 時代の教育学会事務局あて、FAX またはメールでお申し込みください。折り返し請求書を送らせていただきます。

入会手続きに関してご不明な点は、下記事務局にお問い合わせください。

「A I 時代の教育学会」事務局

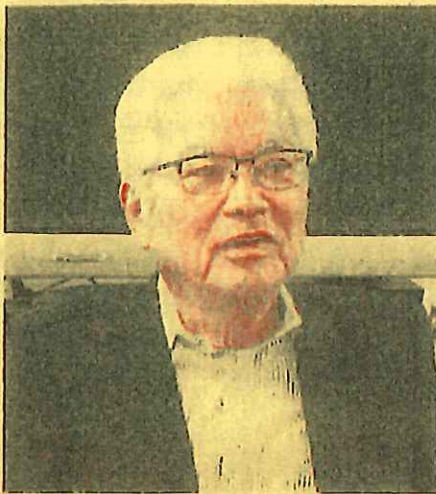
TEL : 03-6205-4531

FAX : 03-6205-4532

e-mail : gjk@gakujoken.or.jp

「AI時代の教育学会」設立へ

学情研 赤堀さんら呼び掛け
評議員会議長



呼び掛け人の赤堀さんは「学校の実践者」の参加も待望する

インターネットの普及や人工知能(AI)の発展した社会での「学習」「情報」「人材」「教育」の在り方を探ろうと、「AI時代の教育学会」の設立準備が進められている。事務局となるのは、

(公財)学習情報研究センター(学情研)。同センター評議員会議長の赤堀侃司さん、同センター評議員の中川一史さん、理事長の辻村哲夫さんらが中心になって参加を呼び掛け

同学会はAIなどテクノロジーそのものを研究対象にするのではなく、情報通信技術、教育実践・方法分野などを視野に、理論と実

践、社会的展望からAIを活用した実践事例、モデル開発などさまざまな領域を有機的に結び付け研究する。また、2カ月以内での素早い論文査読と、ウェブ上での論文誌発行など、「引用」を重視した論文掲載も特徴。

「AIと差別化して、これからの時代に求められる人間の資質・能力をどう高めるか。あ

るべき人材、教育とは何か。未来志向の研究をしていきたい。そのために、ぜひ若手の研究者、企業人などに

も参加してほしい、学校の実践者も加わって論文を書いてほしい」(赤堀さん)

辻村理事長は「学習指導要領も変わり、新たな内容や教育方法も示されている。学会の研究によって、先生たちをバックアップすることも大事」と話している。

来年7月30日の「情報教育セミナー2019」で正式な設立を目指す。

問い合わせ「学情研

eメール bjk@gakyo-ken.or.jp

「AI時代の教育学会」設立について

赤堀 侃司 (学情研・評議員会議長, 東京工業大学名誉教授)

中川 一史 (学情研・評議員, 放送大学教授)

辻村 哲夫 (学情研・理事長)

読者の皆さんに、本誌を借りて、公益財団法人学習情報研究センター（学情研）として、正式に「AI時代の教育学会」の設立をお知らせします。

1. 学会設立の経緯

「AI時代の教育学会」の設立の経緯については、以下の通り、関連するものだけ示します。

2017年 8月10日 学会論文誌創刊

2017年 9月10日 赤堀侃司が論文誌編集長

2017年 12月15日 「情報教育コンファレンス」

にて、辻村哲夫理事長が学会設立について説明

2018年 2月16日 第19回理事会にて、学情研の理事・監事に学会設立について説明

2018年 6月 5日 第20回理事会にて、学情研の理事・監事に学会設立について説明

2018年 6月20日 第9回評議員会にて、学情研の評議員に学会設立について説明

2018年 7月27日「情報教育セミナー2018」「第1回全国実践研究発表会」37件のポスター発表

2018年 9月22日「第2回全国実践研究発表会」

2018年 10月19日 日本学術会議に学会申請について説明

なお、2019年 7月30日「情報教育セミナー2019」において、学会設立総会、鈴木寛先生の講演(予定)

2. 学会の設立趣意書

「現在、情報技術やインターネットの普及、活用の変化は目覚ましいものがあり、新しいサービスが生まれ消えていく状態にあります。今が日本の第4次産業革命の分かれ道であるという指摘もあります。人工知能(AI)の発展は、これからの世の中の在り方を劇的に変え、これまで以上に「学習とは何か」「情報とは何か」「教育とは何か」が問われる世の中になることが予想されます。

本学会は、広く、情報通信技術、教育実践・方法の分野に至るまで、情報化やグローバル化などに対応できる理論と実践、社会的な背景や展望などの網羅的な視点と実践事例の分析やモデル開発などの具

体的な視点すべてを視野に入れた領域を見据えています。このような各領域に特化した学会はあるものの、それらを有機的に結び付けるような学会は存在しません。

初等中等教育に代表される実践者、大学や研究機関等の研究者、行政関係者、企業や団体その他関係者の方々、そして学生や生徒の皆さんが一堂に集う場として、さらには社会からの期待にも応えられるように支援するため、本学会が設立されました。実践者が経験のみに偏らず、研究者がデータのみに頼らず、国内外の学会や関連団体とも連携して、教育や研究、開発などの場に役立つ知見を生み出していることを願っております。」

3. 主な活動と特徴

- ・素早い論文査読 (1回査読, 2名の査読者, 査読期間2ヶ月以内)
- ・論文誌 (Web) 発行
- ・年1回全国大会・セミナーを開催
- ・年4回程度「全国実践研究発表会」を開催
- ・会誌の編集・隔月発行
- ・各種委員会 など

4. 会員と会費

- ・正会員 年額 6,000円
- ・学生会員 年額 3,000円
- ・賛助会員 年額 1口以上 (1口は3万円)

会員は、論文誌への論文の投稿、学術講演会や研究会などに研究発表ができます。また、学生会員を除いて、本学会役員の選挙権と被選挙権を持ちます。

5. 会員のお申込み先

現在、以下の学会事務局にて受けつけております。

公益財団法人学習情報研究センター

<http://www.gakujoken.or.jp/>

お申込・問い合わせ

e-mail: gjk@gakujoken.or.jp

事務局長：澤井 進